

『小学保健』 学年別年間指導計画例 第5学年

◆1章 心の健康 ・教科書 P.7～P.20 ・配当時数 3時間

章の目標	
<p>■心の発達及び不安や悩みへの対処について理解するとともに、簡単な対処をすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達すること。 ・心と体には、密接な関係があること。 ・不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があること。 	
<p>■心の健康について、課題を見付け、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現すること。</p>	

時	学習活動	評価の観点
1. 心の発達		
1時	<p>【見つけよう】 小さい頃と今の自分とを比べて、P.8の挿絵のような経験があるかを振り返る。</p> <p>◎心の成り立ちや心と体の関係について調べる。</p> <p>【考えよう】 心（感情、社会性、思考力など）は、それぞれどのように発達してきたのか、小さい頃の自分と今の自分とを比べて考える。</p> <p>【話し合おう】 私たちの心は、どんなことを通じて発達してきたのか、自分の経験を振り返って、人との関わりなどから話し合う。</p> <p>【まとめ】 心は、多くの人との関わりや自然とのふれあいなど、様々な生活経験や学習を通して発達していく。心が発達することで、自分の感情をコントロールしたり、相手の気持ちや立場を理解したりすることができるようになる。</p> <p>【学んだことを生かそう】 心がよりよく発達していくためにしてみたいことを考え、記入する。</p>	<p>○心は、様々な生活経験や学習を通して、年令とともに発達することを理解している。（知識・技能）</p> <p>○よりよく心を発達させる適切な方法を考えたり、表現したりしている。（思考・判断・表現）</p> <p>○心の発達について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）</p>
2. 心と体のつながり		
2時	<p>【見つけよう】 P.12の挿絵を見て、同じ経験をしたことがあるかを振り返る。</p> <p>【考えよう】 心の状態の変化が、体の状態に影響する場面について考える。</p> <p>【考えよう】 体の状態の変化が、心の状態に影響する場面について考える。</p> <p>【調べよう】 心と体は、どのようにつながっているかを調べる。</p> <p>【まとめ】 心の状態が変化すると体の状態も変化する</p>	<p>○心と体の関わりを知り、心と体は深く影響し合っていることを理解している。（知識・技能）</p> <p>○心と体の関わりについて、自己の経験と学習したことを関連づけて考えたり、表現したりしている。（思考・判断・表現）</p> <p>○心と体の関わりについて資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、意欲的に学</p>

	<p>ことがあり、体の状態が変化すると心の状態も変化することがある。これは、心と体が互いに深く影響し合っているからである。</p> <p>【学んだことを生かそう】 普段の生活のなかで、心と体が影響し合っていると思うことについて考え、記入する。</p>	<p>習活動に取り組もうとしている。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p>
<p>3. 不安やなやみなどへの対処</p>		
<p>3時</p>	<p>【見つけよう】 小学生が抱える不安や悩みにはどのようなものがあるのかをグラフを見て調べる。</p> <p>【話し合おう】 不安や悩みなどに対処する方法を考え、話し合う。</p> <p>【やってみよう】 深呼吸を実際に試してみる。</p> <p>【まとめ】 不安や悩みがあるときには自分の不安や悩みに合った、適切な方法を見つけて対処することが大切である。解決に向けて努力をすることによって、心は豊かに発達し、たくましくなる。</p> <p>【学んだことを生かそう】 例示された悩みへの対処の方法を考えて、記入する。</p>	<p>○不安や悩みへの対処には様々な方法があり、自分の不安や悩みに合った適切な方法で対処できることを理解している。</p> <p>(知識)</p> <p>○呼吸法などの対処のしかたを実践できる。(技能)</p> <p>○不安や悩みに対処する様々な方法を考え、学習したことを活用して、適切な方法を選んだり表現したりしている。</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>○不安や悩みへの対処法を進んで考え、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p>

『小学保健』 学年別年間指導計画例単元計画 第5学年

◆2章 けがの防止 ・教科書 P.21～P.38 ・配当時間 5時間

章の目標	
<p>■けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。 ・けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。 <p>■けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現すること。</p>	

時	学習活動	評価の観点
1. けがや事故の原因		
1時	<p>【見つけよう】けがや事故が起こりそうになって「あぶない！」と思った経験を思い出す。</p> <p>【調べよう】けがや事故は、何が原因で起こるのか調べる。</p> <p>【話し合おう】P.23 の挿絵を見て、けがや事故の起こる原因を、「人の行動」と「環境」に分けて考え、記入欄に書き、話し合う。</p> <p>【まとめ】けがや事故の多くは、人の行動と周りの環境が原因で起こる。また、人の行動はそのときの心の状態や体の調子と関係している。</p> <p>【学んだことを生かそう】「あぶない！」と思った場面を思い出し、その原因を「人の行動」と「環境」に分けて記入する。</p>	<p>○けがや事故は人の行動と周りの環境が原因で起こり、人の行動はそのときの心の状態や体の調子と関係していることを理解している。（知識・技能・技能）</p> <p>○けがや事故が起こる原因を人の行動と周りの環境に分け、考えたり表現したりしている。（思考・判断・表現）</p> <p>○けがや事故が起こる原因について資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、積極的に学習活動に取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）</p>
2. 学校や地域でのけがの防止		
2時	<p>【見つけよう】けがにつながる「かくれた危険」を探す。</p> <p>【考えよう】けがの原因となる危険を予測し、避けるにはどう行動すればよいのかを考える。</p> <p>【調べよう】危険を防ぐために、学校や地域で行われている安全な環境づくりについて調べる。</p> <p>【まとめ】けがを防ぐには、危険を予測して、正しい判断をし、安全な行動をとることが大切である。また、安全な環境をつくることも必要である。</p> <p>【学んだことを生かそう】「あぶない！」と思った場面を思い出し、その場面でけがを防ぐための安全な行動を考えて、理由とともに記入する。</p>	<p>○学校や地域でのけがの防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境を整えることが必要であることを、理解している。（知識・技能・技能）</p> <p>○自分のけがに関わる経験を振り返り、危険の予測や回避の方法を考え、説明している。（思考・判断・表現）</p> <p>○学校や地域でのけがの防止について、生活を振り返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、積極的に学習活動に取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）</p>

3. 交通事故の防止	
3時	<p>【見つけよう】交通事故は、どんな場所で、どんなときに起こりやすいのか考える。</p> <p>【考えよう】P.26 の挿絵を見て、どんな危険があるか、事故にあわないためには、どう行動すればよいの記入する。</p> <p>【話し合おう①】P.27 の挿絵を見て、事故にあいそうな人を見つけて○をつけ、どんな危険が考えられるか、その危険を避けるにはどう行動するとよいか話し合う。</p> <p>【話し合おう②】事故を防ぐために、P.27 の挿絵の中に「カーブミラー」と「横断禁止」を1つずつ設置するなら、どこに設置するとよいか考え、その理由とともに話し合う。</p> <p>【まとめ】交通事故の防止には、学校や地域でのけがの防止と同じように、危険を予測し、正しい判断をして安全な行動をとることが大切である。また、交通事故を防止するためにさまざまな環境づくりも行われている。</p> <p>【学んだことを生かそう】自分の住んでいる地域や通学路で交通事故が起きそうな場面を思い浮かべて、交通事故を防ぐためにできることを、人の行動と環境に分けて記入欄に書く。</p>
<p>○交通事故の防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境づくりが必要であることを理解している。（知識・技能・技能）</p> <p>○自己の周囲の環境を振り返り、危険の予測や回避の方法を考え、表現している。（思考・判断・表現）</p> <p>○交通事故の防止について、生活を振り返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、積極的に学習活動に取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）</p>	
4. 犯罪被害の防止	
4時	<p>【見つけよう】小学生が、誘拐や暴力などの犯罪被害に遭いやすい場所はどこか考える。</p> <p>【考えよう】P.30 の挿絵を見て、どんな危険があるかを予測し、犯罪被害に遭わないための安全な行動のしかたを考え、記入する。</p> <p>【話し合おう】P.31 のそれぞれの挿絵で、危険の予測をして、自分が正しいと思う「安全な行動のしかた」を考え、多くの方法を出し合う話し合いを行う。</p> <p>【調べよう】犯罪被害を防ぐための安全な環境づくりには、どんなものがあるのか調べる。</p> <p>【まとめ】犯罪被害に遭いやすい場所には近づかないなど、危険を予測し、安全な行動をとることが大切である。それでも犯罪に巻き込まれそうになったら、すぐに逃げたり、大声で助けを求めたりする。警察や地域の人々によって安全な環境をつくる活動も行われている。</p>
<p>○犯罪被害に遭わないためには、犯罪が起こりやすい場所を避けることや犯罪に巻き込まれそうになったらすぐに助けを求めることが必要であることを理解している。（知識・技能・技能）</p> <p>○犯罪被害に遭いやすい場所かどうかを判断し、安全な行動を考えて、説明している。（思考・判断・表現）</p> <p>○犯罪被害の防止について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に、積極的に取り組もうとしている。（主体的に学習に取り組む態度）</p>	

	<p>【学んだことを生かそう】地域や通学路で、犯罪被害に巻き込まれないようにするための安全な行動を考えて、理由とともに記入する。</p>	
<p>5. けがの手当</p>		
5時	<p>【見つけよう】 P. 32 のそれぞれの挿絵の場面で自分だったらどう行動するかを考える。</p> <p>【調べよう】 けがをしたり、けがをしている人を見たりしたときは、まず何をすればよいのかを調べる。</p> <p>【やってみよう】 手当のしかたの原則を知り、いろいろなけがの手当をできるようにする。</p> <p>【まとめ】 けがをしたときは、けがの種類や程度を判断し、自分で手当したり近くの人に知らせたりするようにする。また、自分でできる手当の方法を知り、けがに合った手当ができるようになるとよい。</p> <p>【学んだことを生かそう】 休み時間に校庭で転んでしまったとき、どう行動しようと思うかを考え、記入する。</p>	<p>○けがは、種類や程度を速やかに把握して処置したり大人に知らせたりすることが大切であることを理解している。（知識）</p> <p>○簡単なけがの手当ができるように実習している。（技能）</p> <p>○けがの適切な手当の方法を選んだり、説明したりしている。</p> <p>（思考・判断・表現）</p> <p>○けがの手当について、これまでの経験を振り返ったり、実習に取り組んだりする活動に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>（主体的に学習に取り組む態度）</p>
<p>●自然災害から身を守る</p>		
	<p>◎今、「緊急地震速報」を見たり聞いたりしたときにはどうすればよいのかを考える。</p> <p>◎P. 36 のそれぞれの挿絵を見て、地震が起きたときの自分が正しいと思う「安全な行動のしかた」を考え、多くの方法を出し合う話し合いを行う。</p> <p>◎地震以外の自然災害について、身を守るための行動について考えたり調べたりする。</p> <p>◎災害が起きたときのために、日頃からどんな備えをしておけばよいのか調べる。</p> <p>【まとめ】 自然災害から身を守るには、日頃から災害に備えることと、災害が発生したときには落ち着いて正しい判断をし、素早く安全な行動をとることが大切である。</p>	<p>○日頃から災害に備えること、災害が起きたら落ち着いて判断し素早く安全な行動をとることが大切だと理解している。</p> <p>（知識・技能）</p> <p>○災害から身を守るための安全な行動のしかたを考え、判断したり説明したりしている。</p> <p>（思考・判断・表現）</p> <p>○災害によるけがの防止の学習に、積極的に取り組もうとしている。</p> <p>（主体的に学習に取り組む態度）</p>